

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	総合計画策定事業			コード	161103
2 担当部課	部等	企画政策部	課等	企画課	作成者 宮坂 征憲
3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	市民総参加のまちづくり
		予算科目	総合計画策定事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	平成31年度を初年度とする「第5次岡谷市総合計画」の策定を行う。		
目的	対象者	職員	
	意図	総合的かつ計画的な行政運営を図る	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>1. 第5次岡谷市総合計画策定方針の策定</p> <p>2. 市民意見の聴衆</p> <p>①まちなかアンケート：平成29年8月25日及び9月9日、市内大型商業施設、回答者504名</p> <p>②市民アンケート：平成29年9月4日～9月22日、無作為抽出による18歳以上の市民1,000名（回収率52.4%）</p> <p>③新成人まちづくりアンケート：平成30年1月7日、成人式会場、回答者151名</p> <p>④中学生まちづくりアンケート：平成29年11月27日～12月6日、市内4中学校2年生、回答者359名（回答率91.1%）</p> <p>⑤高校生まちづくりアンケート：平成30年2月1日～2月16日、市内3高校2年生、回答者520名（回答率94.5%）</p> <p>⑥各種団体インタビュー：5団体等</p> <p>3. 基本構想（案）の策定</p> <p>①「岡谷市総合計画の策定に関する条例」制定（平成30年2月21日 公布・施行）</p> <p>②基本フレーム（企画課案）の作成</p> <p>③若手職員プロジェクトチームによる政策提案</p>		
前年度の課題への対応	なし		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 直接事業費	0	0	701,829	1,900,000	
経常経費	0	0	0	0	
臨時的経費	0	0	701,829	1,900,000	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	0	0	8,000,000	16,000,000	
正規職員の人数（人）	0.00	0.00	1.00	2.00	
③ 合計コスト（①+②）	0	0	8,701,829	17,900,000	
前年度比				205.7%	
財源	0	0	8,701,829	17,900,000	
一般財源	0	0	8,701,829	17,900,000	
内訳	0	0	0	0	
特定財源	0	0	0	0	
* 特定財源の説明					
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
なし	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	-	-	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「選択と集中」を意識した、実効性のある計画の策定 ・多くの市民に認知され、相互に情報共有を図りながら、市民総参加で取り組むことのできる計画の策定
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで、幅広く市民意見の聴取を行う。 ・できるだけ図表を多用し、分りやすく、親しまれやすい計画書の作成に努める。
改善開始時期	平成30年度

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	--	--